

ぼいす通信

平成27年9月発行

第34号

古賀市社会福祉協議会

ボランティアセンター発行



7月30日～8月21日 サマーボランティアスクールを開催しました!

1回目

はじめまして!



参加者みんなが仲良くなれるレクリエーションをして、ボランティアについて勉強しました。

2回目

どんな工夫をして材料を切っているんですか?



視覚障がい者の方を先生にお迎えしてみんなでカレーを作りました。

4回目

目の不自由な人の生活の工夫も色々あったね!

知らなかったボランティアがたくさんあったね。



ボランティアスクールを通して感じたことや発見したことをまとめて、発表しました。

3回目

球の音を頼りに打ち返します。難しい!!

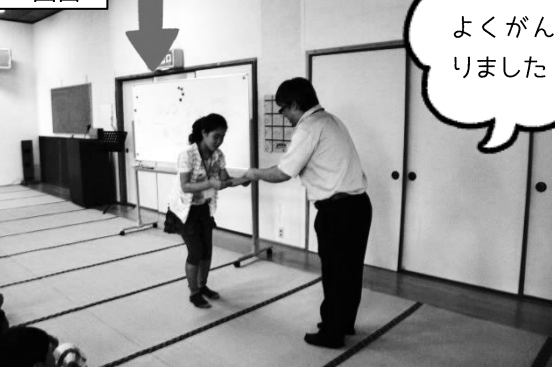


声掛けが大切!!

サウンドテーブルテニス(音の出る球を使って行う卓球)や卓球バレー(写真下)を体験しました♪

4回目

よくがんばりました!



講座終了後、修了証授与式を行いました。

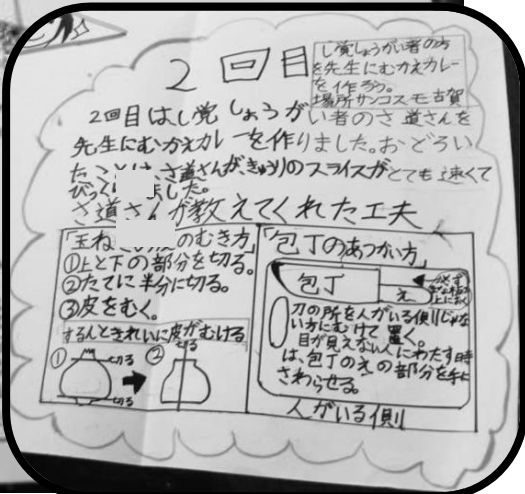
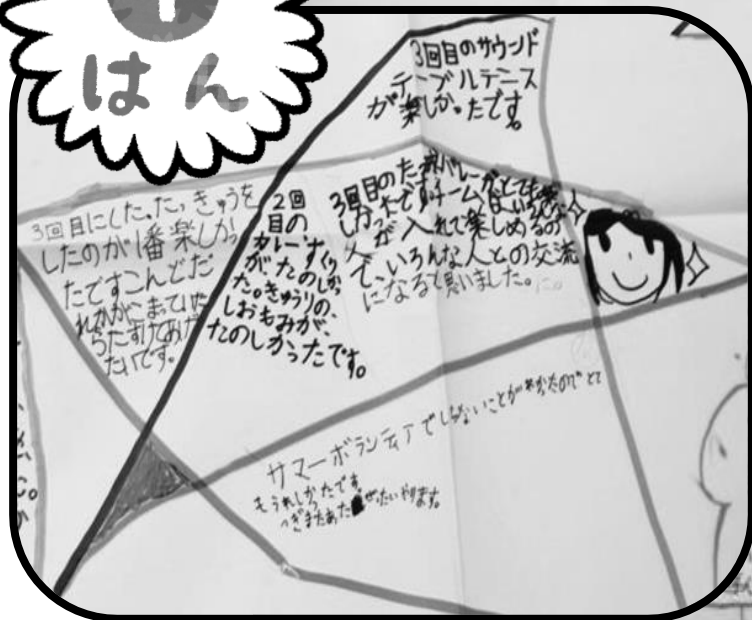
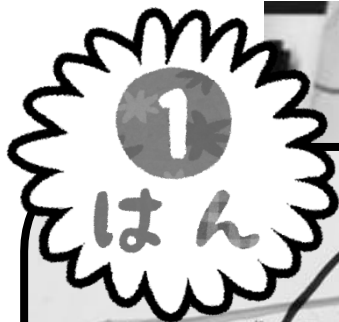
お問合せ

古賀市社会福祉協議会

(TEL) 944-2941

ボランティアスクール まとめ

4回の講座を通して、発見したことや感じたことをボランティア新聞にまとめました！



① ボランティアって何？

相手の気持ちを考える

- 人を助けるため(人助け)。
- 自分ですすんで取り組む。
- 自分ができることを自分のできる範囲でやる。
- 人の生活を幸せにする。



③ 楽しかったこと、発見したこと、思ったこと！

- 目の見えな人がこまっていたので声をかけてあげたら、おねがいしますと言われたのでうれしかったです。
- カレーをつくるのがたいへんだった。食材だけではなく、いろんな物を手でさわって確かめました。
- サウズテーブルテニスがむずかしかったです。
- 今まで視覚障が者の人は遠くで見たことばかりで、す通りして、これから、その人を見かけたら、声をかけてあげようと思った。
- 目の見えな人はとても耳がいい。
- 食事するときは、食べ物の位置を時計の数字で表わすと、分かりやすい。

④ まとめ

目の見えな人が困っていたら、横や正面から、声をかけてあげる。

いきなり大きなボランティアとかではなく、小さなことから、始めていけばいい。

無理をせず、自分にできることから始めてみましょう！

